



お出かけスポットに ニタッチニ

もととりあじさい園

市が所有する里山を地元市民団体「金剛山もととり保全協議会」が整備運営。山ろくに咲く、色とりどりのあじさいに心奪われます。例年6月中旬から7月上旬にかけて約4,000株のあじさいが見頃を迎え、あじさい祭りが開催されます。期間中は地元の特産品なども販売し、多くの人で賑わいます。



竜王峡

竜王峡キャンプ村の近くには、「竜王の滝」など3つの滝と、きれいな渓流があり、子供たちの絶好の遊び場として親しまれています。直方市街地からのアクセスも良く、澄んだ空気の中で水遊びや、バーベキューなどが気軽に楽しめます。キャンプ村には、バンガローやテントサイト、温水シャワーなどが整備されています。夏には、ヤマメのつかみ取りや竹灯籠祭りも開催されます。



パークゴルフ場

公益社団法人日本パークゴルフ協会公認コースでいろんな世代が楽しめます。



福智山

標高901メートル。福智山系の主峰で、林野庁から「水源の森百選」に選ばれた豊かな森林があり、山頂からの360度の眺望や滝など見どころいっぱい。野鳥の宝庫でバードウォッチングも満喫できます。



福智山ろく花公園

1年を通して四季折々の花が咲き誇ります。5月はネモフィラ、10月にはコスモスが、約1,000㎡の花壇で見頃となります。季節ごとのイベントや各種教室なども開催。自由に遊べる芝生広場やドッグランもあり、ご家族連れで楽しめるおススメスポットです。また、令和5年6月に、ワンヘルスを学び、体験できる施設「ワンヘルス啓発施設」として、福岡県から認定されています。



のおがた夏まつり、直方山笠

約6,000発の火花とナイアガラが夜空を飾り、水面を彩る火花大会は、見ごたえ抜群。打ち上げ場所と観覧席が近く、臨場感たっぷりです。同日、追い山笠も行われ、夏まつりをより一層盛り上げます。



まちなかライトアップ事業(のおがたイルミ)

JR直方駅から須崎町公園のエリアに、16万球のイルミネーションが美しく輝きます。イルミネーションと共にクリスマスマーケットなども開催され、冬の風物詩となっています。

MAKE A MONOGATARI

遠賀川河川敷で行われる有名アーティストによる音楽ライブと9,000発の音楽花火のイベントで、市内外から多くの方が訪れます。これまで4回開催されており、直方の恒例イベントとなっています。



五日市

毎月5日に市内の商店街で開催しています。加盟店の特売セールやここでしか食べることのできない五日市うどんが数量限定で販売され、毎月、大賑わいです。



のおがたチューリップフェア

毎年、4月上旬に開催される直方を代表するイベント。色とりどりの様々な品種のチューリップが遠賀川の河川敷を彩ります。満開の桜や菜の花、遠くに望む福智山と一体となり、直方の春を盛り上げます。期間中は土日を中心に、約30万人の人で賑わいます。



オートキャンプ場

福智山と遠賀川の雄大な景色の中、街なかで気軽にキャンプが楽しめます。オンライン申請での予約が可能です。



サイクリングロード

令和元年11月「直方北九州自転車道」が全線開通しました。飯塚市から伸びる「飯塚直方自転車道」と合わせると全長47.3キロメートルものサイクリングロードとなり、遠賀宗像自転車道にも繋がっています。車の危険を感じず安全に、自然を満喫しながら、サイクリングを楽しむことができます。





歴史・文化に ニタッチニ

高取焼発祥の地 古高取



古高取（高取焼）は1600年代の初め頃、豊臣秀吉による朝鮮出兵の際に連れ帰られた陶工によって、直方で始まった焼き物です。永満寺宅間の地で発祥し、1614年には頓野内ヶ磯窯跡へ移りました。当時最大級の規模と最先端技術で製作された茶器は、瀬戸焼や唐津焼とともに多くの茶人や武士に好まれました。

国指定史跡 筑豊炭田遺跡群

旧筑豊石炭鉱業組合直方会議所 及び救護練習所模擬坑道

明治期以降、日本の近代化を支えた石炭を多く産出し、筑豊炭田の中心地のひとつであった直方の歴史を知ることのできる文化財です。本館は明治43年に当時の筑豊石炭鉱業組合が直方会議所として建設したもので、東アジア最古の本格的な救護練習施設である救護練習所模擬坑道とともに、国の史跡に指定されています。現在、未来への保存と活用のための整備事業を進めています。また、石炭記念館の入口に設置された坑夫の像は、令和3年に遠賀川河川敷公園から移設されました。



直方のはじまり 東蓮寺藩誕生400年

江戸時代前半（1623年から1720年）、直方は城下町でした。福岡藩初代藩主 黒田長政の四男高政が東蓮寺藩初代藩主となり、三代藩主長寛の時、直方藩と改名しました。四代藩主長清の子が福岡藩を継いだため、約100年の歴史に幕を閉じました。2023年には、東蓮寺藩誕生400年を記念して、兄弟藩である秋月藩（朝倉市）とともに様々なイベントを実施しました。



直方谷尾美術館

平成13年4月から市美術館として活用されている建物で、昭和15年に建設されたものです。半円形の応接室、独立柱を持つ玄関など、昭和初期のモダンな医院建築です。



直方名菓 成金饅頭

石炭産業明治の末、直方で日露戦争戦争に乘じた豆の投機に失敗した人が、余った大量のうずら豆の処分に困り、餡をたくさん使った饅頭にして売ったのが「成金饅頭」の始まりとされています。直方の炭鉱王・貝島太助もお気に入りだったという豪快な饅頭。最大のもは直径29cm、重さ約3kg。



せんべい

全国のお店や通販でおなじみの「もち吉」。創業90年以上の会社が作るおせんべいは職人技が生み出す一枚。



直方B級グルメ焼きスパ

商店街の喫茶店で学生の味として愛された青春の味。閉店後、幻の味となっていたが、直方B級グルメ募集で、多数の声が寄せられ、復活。公式認定を受けた市内の複数飲食店で提供しています。



自慢の品に ニタッチニ

カレー焼き

直方で60年以上続く市民のソウルフード。昔ながらのもっちり生地の中にはこだわりの野菜を何時間も煮込んで、最大限に甘みを引き出したカレーが詰まっています。



いちご

「あかい、まるい、おおきい、うまい」でお馴染みのいちご、あまおうの栽培が盛んに行われています。直方は生産者一軒あたりの栽培面積が県内随一で、安定して品質の高いいちごが生産されています。